

3. 先進事例発表会

(午後2時40分～午後3時40分)

○個人活動事例

浅野 智恵美氏 (環境カウンセラー、消費生活研究所研究員)
「環境に配慮した持続可能な交通社会(EST)の実現と県民の役割」

○企業活動事例

株式会社アンソー
「エコポイント制度を通じた社員の環境意識の啓発と行動促進」

○鉄道関連事例

豊橋鉄道株式会社
「LRV導入を契機とした地域活性化の推進」

○バス関連事例

大口町コミュニティバス
「町内企業と連携したコミュニティバスの運行」

○行政活動事例

愛知県
「あいち エコ モビリティ ライフ 推進事業の取り組み」

memo

～あいちからはじまります、環境にやさしい 交通行動～

あいち エコ モビリティ ライフ

県民の集い

【日時】平成20年10月7日(火) 午後1時30分～午後3時40分

【場所】愛知芸術文化センター芸術劇場大ホール

【主催】愛知県・あいちエコモビリティライフ推進協議会

エコ モビリティ ライフとは…

自動車と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイル、それが「エコモビリティ ライフ」です。地球環境にやさしく、安全で健康的なエコモビリティ ライフを愛知県から広めていきます。主人公はあなたです。さあ、一緒に始めませんか。

1. 式典

(午後1時30分～午後1時45分)

○主催者挨拶

愛知県知事・あいちエコモビリティライフ推進協議会会長 神田 真秋

○シンボルマーク・イメージロゴコンクール応募作品最優秀者表彰

【シンボルマーク部門】(応募総数143件)

最優秀賞 岡本 寛 様 (大阪府大阪狭山市)

【制作コンセプト】

シンボルマークでは、徒歩、自転車、自動車、公共交通などをかきこく使い分けるライフスタイルをそれぞれのエッセンスで表わし、一本のラインが伸びていき、エコの漢字である「e」を形どっています。また、その先端から若葉が芽を出し、地球環境にやさしい暮らしを表現しました。

【選評】

優しい感じやエコの気持ちを感じる作品である。徒歩から電車までがきちんと入っており、木や鳥などの共生もイメージできる。それに加えて、エコの「e」まで取り入れており、これらのものがバランスよく、うまく表現されている。生活感が感じられることが評価でき、楽しさや躍動感が伝わってくる。

優秀賞 河野 通 様 (大阪府堺市西区)

大石 正幸 様 (福岡県福岡市博多区)

【イメージロゴ部門】(応募総数62件)

最優秀賞 加藤 明 様 (愛知県名古屋千種区)

【制作コンセプト】

ゴシック体をベースにした、可読性・普遍性の高いシンプルなロゴにしていますが、その中で個々の文字の横線を微妙に変化させるなどして、読みやすく感じやすいデザインにしました。そしてエコの象徴である緑の葉と「E」の丸点部分に赤い実を配置して全体のアクセントとし、「エコ」のイメージを強調してみました。

【選評】

カタカナで表現することで、とても分かりやすく、文字そのものも優しい感じを受ける作品である。ロゴマークに重要な要素であるシンボルマークとの相性という点で見ても、シンボルマークとうまく調和する作品であると言える。それでいて文字に遊び心、動きがあり、非常にバランス感覚の優れた作品である。

優秀賞 合原 勝之 様 (神奈川県横浜市鶴見区)

当具 薫 様 (三重県名張市)



あいちエコモビリティライフ

